

平成 28 年 8 月 10 日

越谷保育専門学校  
校長 山崎美美夫

### 平成 28 年度学校関係者評価報告書の公表について

学校関係者評価委員会による本校の「平成 28 年度学校関係者評価報告書」を公表します。

なお、本校の学校関係者評価で使用した自己評価報告書の様式は、特定非営利活動法人私立専門学校等評価研究機構が作成した文部科学省ガイドライン準拠版 Ver4.0 を使用しました。

平成 28 年 8 月 1 日

越谷保育専門学校  
校長 山崎芙美夫 様

越谷保育専門学校  
学校関係者評価委員会  
委員長 山田 陽子

### 平成 28 年度第 1 回学校関係者評価委員会報告

平成 28 年度第 1 回学校関係者評価委員会において実施した「平成 27 年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員会委員名簿

委員長：山田陽子委員

池田 祥子	社会福祉法人杉の子保育会理事
石田 高幸	学校法人石田学園理事長 社会福祉法人わせだ会わせだっこ中央保育園園長
植竹 清文	学校法人植竹学園 認定こども園わかばの森園長
鶴見 秀海	埼玉県立越谷東高等学校校長
岡 美那子	社会福祉法人 まあれ愛恵会 さいたまたいよう保育園園長
中島新太郎	元 埼玉県吉川市立北谷小学校校長、元吉川中央公民館館長
山田 陽子	十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授

(五十音順)

#### 2 学校側事務局

山崎芙美夫	学校法人ワタナベ学園理事長兼越谷保育専門学校校長
美入 昌男	越谷保育専門学校副校長
会田 秀樹	同 学科長
須賀 成則	同 事務長
東海林 孝	同 教務部学科主任
渋谷るり子	同 教務部学科主任
菊地 秀典	同 事務長代理

3 委員会開催状況

日時：平成28年7月4日（月） 午前9時15分～11時00分

会場：越谷保育専門学校 201教室

参加委員：上記委員 6名、学校側事務局 7名

4 委員会次第

開会

(1) 委嘱状の交付

(2) 委員の紹介

(3) 校長挨拶

(4) 議長選出

(5) 協議

ア 学校概要の説明

イ 学校関係者評価の進め方の説明

ウ 「平成27年度自己評価報告書」に対する評価の実施

エ 学校関係者評価の総評と意見交換

オ その他

(6) その他

ア 次回の開催予定

イ その他

閉会

5 学校関係者評価結果

別紙のとおり

別紙

## 平成 28 年度越谷保育専門学校 第 1 回学校関係者評価報告書

平成 28 年 7 月 4 日

### 1 学校概要の説明

本校は幼稚園教諭 2 種免許状、保育士資格が取得できる教員養成機関であると同時に、指定保育士養成施設であります。今年度の入学式が第 48 回となりました。現在は第一部幼稚園教諭保育士養成学科 100 名定員の 1 学科となっています。

### 2 学校関係者評価の進め方の説明

基準 1 から基準 10 に分けられた項目を今回は基準 1 から基準 3、基準 4 から基準 6、基準 7 から基準 10 に分けて説明し、評定が 3 以下のチェック項目について事務局から説明させていただいて委員の方から総評、意見交換させていただくかたちをとりたいと思います。

### 3 「平成 27 年度自己評価報告書」に対する評価の実施

#### 1 学校の理念、教育目標

・特になし

#### 2 本年度の重点目標と達成計画

・特になし

#### 基準 1 教育理念・目的・育成人材像

##### 1-1-3 【理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか】評定 3

(学校) 実習体験、サポートレッスン、キャリア教育等に取り組んでいる。課題としてピアノの上達は必須であるが、単位修得のみで甘んじている学生が多い。もう少し取り組みとして必要であると感じ評定 3 としてある。今後学生がピアノに取り組める工夫が必要ではないかと考える。

(委員) 実習体験、ピアノサポートレッスン、キャリア教育、これだけで豊かな人間性を見につける保育者を養成できるのか。採用する立場として、今の子どもたちが何に興味を持っているか身につけて入ってきてほしい。自然活動がスムーズにできる先生、スポーツやダンスが得意な先生、虫やザリガニが扱えるような先生がほしいと思っている。それを考えると実習体験、ピアノサポートレッスン、キャリア教育などで豊かな人間性を身につけるといふことにどれだけ近づけるのか。同じようなやり方で魅力ある先生が養成できるのか。

(委員) チェック項目の後者である特色ある職業実践教育に取り組んでいるかということを書いているのだと思う。前者の項目を入れれば解決するのではないかと。

(学校) 豊かな人間性をどう捉えるか、私は大きな捉え方をしているので、具体的にどんな実践をしているのか。すべての教育活動が繋がっていくのではないかと考えている。教育活動の中で行事を見ても自然にふれる行事、スポーツ大会、保育祭を通して豊かな人間性を育てるところにつながるのではないかと考えている。ここには職業実践で実際に行っていること

を記載してあるが、これ以外にもコミュニケーション力を付けたり、相手を思いやる気持ち、豊かな人間性をどう捉えるかにも関わってきますが、そういう努力はしていると思っています。

(委員) 保育祭でオペレッタの発表を行っていて、委員から出たもう一つの特色ある教育活動につながっているのではないかと思います。ここに記載されていないのが残念だったのですが。

(学校) オペレッタなども表現活動の総合的なものだと思いますが、豊かな人間性ということで行事だけではなく、日々の授業の中でアクティブラーニングを取り入れた学びあいを通して気付く感性を育てられるような授業内容で自分の科目では教えているつもりです。オペレッタなどの表現活動、保育祭含め人形劇のサークルも行っていて放課後の課題活動も特色に入るかと思えますので現状の取り組みに付け加えさせていただければと思います。

(委員) 豊かな人間性というところで、共同での取り組みというところが相手の立場を尊重しながら自分の意見も出して共に育ちあうという体験もしているはずですので、評価が4になる可能性があるのではないかと思います。

#### 1-1-4 【社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか】 評定2

(学校) 学校の将来構想を学生・保護者・関連企業等に周知しているかということでも不十分である。

(委員) 評定2は厳しいのではないかと思います。中期的な視点での中期目標を定めていきたいという気持ちが強いのですか？

(学校) 委託訓練生の受け入れをした。本来であれば通常の募集で100名入学生があればいいが、今回も87名の入学生、そのうち28名が委託訓練生ということで評価を2とさせていただいている。

(委員) 委託訓練生を受け入れること自体が将来構想を抱いているというふうを受け止めれば3からすすめてみてもいいのでは。

(学校) 移転の問題については校舎も年月が経っているので、運営委員会で話題にしながら進めていく。この地で継続するのか、吉川に移転するのか吉川以外も視野に入れているが、さまざまな問題、お金の面も含めて、募集が成功するか。早くて3年、長ければ7、8年というスパンで考えている。その中で移転せざるを得ないのではないかと考えていますが、今後煮詰めてまいりたいと思います。

### 基準2 学校運営

#### 2-3-1 【理念等を達成するための事業計画を定めているか】 評定3

(学校) 単年度の事業計画については予算編成等で定めているが、学校として中期的計画は定めていない。改善策として単年度事業計画をふまえたうえで、教育成果の向上と財政基盤の安定を目指した中期計画を作成する必要があるということで評価が3になっている。

(委員) 先ほどの理念につながる場所ですが。

(学校) 移転の問題がはっきりして中期計画に入れれば変わってくるのではないかと。

**2-5-1 【人事・給与に関する制度を整備しているか】 評定3**

(学校) 法人本部では人事給与委員会が組織されているが、人事考課として明確化されたものがない。今後については人事考課制度の整備は必要であるということで評定が3になっている。

法人全体で職員が150、160人おり、ある一部の職種だけやるわけにはいかない。今年度は少しでも前に進めたらいいと思っているが、まだはっきりした結論はでていない。どう給与に反映するのか賞与で反映させるのか、同じ教育職で県立高校の先生もいらっしやるのでヒントをいただけたら、考えの中に入れておこうかなと思っています。

(委員) 今年の評価が来年の給与に反映される。大きい特徴としては個の実績評価とあわせてチームワーク行動の評価もあり、個だけの評価だけでなくチームとして成立しているかどうかという観点も踏まえたうえで個も見えていく。累積をしたケースで来年の給与に反映していく。管理職を対象としたものには賞与に反映、一般の先生方は給与に反映する。統一昇給を無くし、一律管理職から何万円か毎年拋出し、それを原資として少ない変動幅ですが、そういう制度を来年から導入するという説明が出されており、今年の評価が動いている。先生方は理解をしていただきながら、日々の3万円前後の変動だったかと思いますがそう大きいものではありません。お金の額よりもチームとしてのチームワーク行動がとて面白い内容かなと思っている。学校を預かる校長としては組織として1枚岩になってほしいし、組織として成果を上げていきたいと思っている。

**2-6-1 【意思決定システムを整備しているか】 評定3**

(学校) 本校では毎週月曜日に朝会、毎月第二火曜日に教職員会を実施しているが、中期計画作成等の懸案事項に対する組織はないので評定が3になっている。今後については法人本部と学校間の意思決定の手続きを円滑に行う必要があると考えます。

**2-7-1 【情報システムに取り組み、業務の効率化を図っているか】 評定3**

(学校) 法人と学校間ではLANシステムや共有フォルダを整備しているが、危機管理の観点からさらなる安全性を確保する必要があるのではないかと、学生の緊急情報システム等の研究を進める必要があるのではないかとということで評定が3になっている。

**基準3 教育活動**

**3-8-2 【学科毎の修業年限に応じた教育達成レベルを明確にしているか】 評定3**

(学校) シラバス等も含めて2年間での卒業の説明をしているが、教育達成レベルの周知にはシラバス等を使用しているが十分に定着しているとは言えない。授業における知識・技術等の習得には個人差があって個人指導が必要な学生が多い。まだ検討の余地があるのではないかとということで評定が3になっている。

**3-9-3 【キャリア教育を実施しているか】 評定3**

(学校) キャリア教育を実施しているので評定4でも問題ないと思うが、キャリア教育ではグループ活動にて理想の保育園作りを行った。学生によって取り組みに大きな差が見られたので、今年度は外部業者と話し合いをし変更している。

<p><b>3-9-4 【授業評価を実施しているか】</b> 評定2</p> <p>(学校) 授業評価は実施しているが、PDCAサイクルによって活用できていない。見直しは必要であることから評定3としている。</p>
<p><b>3-11-2 【資格・免許取得の指導体制はあるか】</b> 評定3</p> <p>(学校) 課題として出席日数不足、点数不足で留年や退学する学生がおり、指導体制があったとしても改善の余地があるということで評定3にしている。</p> <p>(委員) 課題の改善方法は？</p> <p>(学校) 個別に対応しているのが現状である。残留している学生には元担任が対応している。</p> <p>(委員) 経済的なものであれば学生も仕方がないと思うが、気持ちの問題でだんだんと学ぼうとする意欲が薄れてくる学生は多いのか。</p> <p>(学校) 毎年数名いる。最初に退学する学生の一番の理由は、同じ方向に向かっているクラスの中で自分は違うなど感じ辞めていく。なかなか入試の段階では計り知れない。あとから聞いてみると本当は行きたくなかった、就職したかったなどの話が出る。</p> <p>(委員) 入学してから学生が孤立しない仕組みはあるのか？新卒の学生と既卒の学生の退学する比率は新卒の方が多いのか？</p> <p>(学校) 退学は新卒が多い。今年の2年生はグループの中で1人がやめると、他の2、3人もやめていった。学校でもフォローができれば良かったが、検討の余地はある。</p> <p>担任の先生たちにはよく指導していただいている。自分のクラスの子の危なそうな情報をすぐに教えてくれる。中学高校並みの細かい指導はしているのではないか。今年は指導経過を書いてもらおうかと思っている。その指導経過を募集体制に繋げてみたい。こういう指導をしましたというのがわかる。退学者が出るのは入口の問題もあり、指導体制だけではないと思うが、組織としてうまくまとめればいいのかと感じている。</p>
<p><b>3-12-2 【教員の資質向上への取組を行っているか】</b> 評定3</p> <p>(学校) 取組を行っているが、課題として教員の自己評価を実施しているが、人事考課に反映できていないところがあるので評定3としている。</p>
<p><b>3-12-3 【教員の組織体制を整備しているか】</b> 評定3</p> <p>(学校) 専任・兼任教員の連携、協力体制ということでは、行ってはいるが学生指導における兼任教員との日常的な連携が難しいことから評定3としている。</p>

**基準4 学修成果**

<p><b>4-14-1 【資格・免許の取得率の向上が図られているか】</b> 評定3</p> <p>(学校) 外部業者に依頼し公務員試験対策講座を行っている。回を重ねるごとに人数が減っている現状があり、学生が取り組みやすいような講座を考えていかなければならないということで評定を3にしている。</p> <p>(委員) 無料だから受講しない場合もあるのでは？有料にするのも一つの方法では？</p> <p>(学校) 今後検討します。参加しなくなる一番の理由は難しく勉強についていけないこと。</p>
--

<p>(委員) 講師の先生に工夫してもらうことも必要かもしれない。</p> <p>(学校) 試験に受かるためにはそれ相応の内容を勉強していただかなければならない。</p>
<p>4-15-1 【卒業生の社会的評価を把握しているか】 評定3</p> <p>(学校) 把握できていない。</p>

**基準5 学生支援**

<p>5-16-1 【就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか】 評定3</p> <p>(学校) 相談室がないということが問題であり、学生のプライバシーが心配だということで3にしている。</p> <p>(委員) 一角をパーテーション等で区切って相談する場所として使用するという考えは？</p> <p>(学校) 教室以外の部屋というのが、1部屋しかない。就職用で使ってしまうと他の会議で使用できる場所がなくなってしまう。</p> <p>(委員) 何日の何時に誰が使うというような表を作り、効果的に使いまわすことはありますか？</p> <p>(学校) カウンセリングでも使用しており、それは時間が決まっている。それ以外に教育実習・保育実習の事後指導をしており、空き教室、学生ホール等を使ってもらっているが空いていない場合に相談室を使用する。例えば約200名の学生が同じ時期に教育実習に行くと先生方が約1か月かけて事後指導を行うが部屋の確保が難しい。</p> <p>(委員) 難しいというのは面積要件が減るということですか？</p> <p>(学校) 201教室でも約40名が入ればギリギリであり、学生のロッカーがなくてもこの面積である。これよりも学生の教室は少しく狭くロッカーがあつて約40名入っている。</p> <p>(委員) 稼働率も考えると全く使わない時間帯もあると思うが？</p> <p>(学校) プライベートの問題もあるので個別の相談できる場所があつたほうがいい。教室は学生が残ってピアノの練習をしたり、レポート作成をするので教室は放課後空けておかないといけない。今後、工夫しなければならないと思う。</p>
<p>5-17-1 【退学等の低減が図られているか】 評定3</p> <p>(学校) 退学率の低減ということで個別相談を行っているが、退学者が出ており3としている。</p>
<p>5-18-1 【学生相談に関する体制を整備しているか】 評定3</p> <p>(学校) 関連医療機関等との連携は出来ていないので評定が3になっている。ただし2名の専任のカウンセラーを配置して対応している。</p>
<p>5-19-2 【学生の健康管理を行う体制を整備しているか】 評定3</p> <p>(学校) 学校保健計画を定め、毎年健康診断を実施している。また、教室内の環境衛生検査も年2回行っている。健康相談に対する体制がまだ出来ておらず、今後については専門職である養護教諭または看護師が定期的に健康相談にあたる体制をつくれればと思っている。</p>



<p><b>5-20-1 【保護者との連携体制を構築しているか】 評定3</b>  <b>(学校)</b> 一昨年から保護者会を行っているが、課題として参加者が20%程度であり、参加しやすいような保護者会にしていかなければならないということから評定3にしている。</p>
<p><b>5-21-1 【卒業生への支援体制を整備しているか】 評定2</b>  <b>(学校)</b> 卒業後のキャリアアップのための講座を行っていないが、卒業生に対する就職相談は行っている。</p>
<p><b>5-21-3 【社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか】 評定2</b>  <b>(学校)</b> 社会人だけに特化したものはないことから評定2にしている。</p>

#### 基準6 教育環境

<p><b>6-22-1 【教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか】</b>  <span style="float: right;">評定3</span>  <b>(学校)</b> 専修学校の設置基準に基づき整備しているが、校舎は築40年以上を過ぎており、老朽化が目立つことから評定を3にしている。また、平成27年度中に学生用のパソコンを26台から46台に増設している。</p>
<p><b>6-24-1 【防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか】 評定3</b>  <b>(学校)</b> 防災及び防火等に関する保守点検や訓練は毎年実施している。ただし、災害時の校舎の備蓄品が少ないということとロッカーの転倒防止対策をしていないことから評定を3にしている。</p>

#### 基準7 学生の募集と受け入れ

<p><b>7-26-2の【入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか】 評定3</b>  <b>(学校)</b> 入学選考における入学者の傾向は各教員がきちんと把握できるように書類を整理しているが、授業への対応については現状として教員にゆだねられている。組織的な取り組みが行われていないことから評定を3としている。</p>
---

#### 基準8 財務

<p><b>8-28-1 【学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか】 評定3</b>  <b>(学校)</b> ここ数年、入学者は若干減っていて退学者が増えている。平成27年度決算については黒字であるが財政基盤の安定には入学者の確保は必須であり、入学者数を増やすまたは退学者数を減らす必要があるため、評定を3にしている。</p>
<p><b>8-29-1 【教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか】</b>  <span style="float: right;">評定3</span>  <b>(学校)</b> 予算については規程に基づき、基本方針、事業計画を作成して各担当者によって予算編成をしている。ただし具体的な中期計画が教職員に明示されていない、予算の開示</p>

はしていない。

8-29-2 【予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか】 評定3

(学校) 概ね予算執行については第一次補正、第二次補正と適正に行われているが、教職員への開示が望ましいとしているので3としている。

8-31-3 【私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか】  
評定3

決算については経理管財室が所管となり、施設ごとに学園全体と各施設単位の決算説明を行っている。当初LANシステム及びホームページ上での公開が無かったため、評定を3としているが、平成27年度の決算については平成28年6月13日に学園内共有フォルダに開示された。ただし、平成27年度中には行われていないことから評定を3のままとしている。

#### 基準9 法令等の遵守

9-34-3 【学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか】 評定3

(学校) 学校全体で学校関係者評価に対して成果をあげるためにPDCAサイクルの共通理解が必要である。PDCAサイクルの必要性、重要性に関して教職員はそれぞれ理解していると思うが、より共通認識を深めるために研修会が必要だと思うので評定を3にしている。

#### 基準10 社会貢献・地域貢献

10-36-1 【学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか】 評定2

(学校) 今年度、地域に図書室の開放の予定がある。産学連携となると取り組みが弱い。昨年から本校の実習施設との懇談会を行いはじめたので新たな連携の取り組みとしてできればいい。

近隣小学校や中学校が未来発見、総合的な学習ということでの来校実績はある。生涯学習講座ということでは本部のある吉川市でこども大学よしかわを本校の教員を派遣して授業を開講した。

(委員) 改善方策として図書館の解放など身近に出来ることから始めているということですか？

(学校) そうです。

高校には、本校の教員が高校に行って授業を行うなど希望者がいれば検討していただきたい。

### 全体通しての意見

**(委員)** 10の基準に基づいて素晴らしい資料ありがとうございました。真摯に課題をとらえ、全てクリアされてないにしても取組姿勢が感じられました。山崎校長がおっしゃった、学び続けるということの課題がある、我々も大きな命題かと思っています。道に入るとききっかけ、動機、モチベーションを探ることになると、おそらくどこかでこの専門学校に入学すると決める要素の中には感動された体験が幼児教育に関するものがあると仮定すると、感動するバロメーターがあったとして振り切るような感動体験があったはず。それを入学後に育むというか感動体験が間違いではなかったと、さらにこの道を究めていくのだという気持ちをこの専門学校で味わえる仕組みがあると、スキルやシステムはあるがそれが授業改善だと思っている。授業についていくつか方策があると思うが、最近新卒の方や新規採用教員への講演を頼まれるが、その時に伝えるのは教えることは学ぶことであるということ。最後の日を迎え教壇を降りる日まで学び続ける、学ばない教員は置いてきぼりになるのだということ徹底して伝えている。そのために日々変化する内容があるので前例を踏襲したような教え方というのは通用するはずもなく、漫然と教壇に立ち続けている状況があるということ自体よくない。熱いうちに打てということ徹底的にやらせてもらっている。補完する意味で先生方の授業を見させてもらいたい授業がある。例えばイエスキリストは神かまたは人かという命題のもと授業を50分行う。その人はいろんな角度から方策を提示していく。残り10分で紙を渡されイエスキリストは神である○、または人である○という自分の意見を表明する。それを紙飛行機で飛ばす。点在し、拾って開けたときに前の子が書いていたような内容について自分の表明はどうだろう、瞬時にペア学習になる。素晴らしい授業だということで昨年授業観察記録を年間ためて高校教育指導課に送りましてぜひ学校に来て素晴らしい授業をやっている先生方がいるので褒めてやってくれ、ということで授業研修会を先週行った。この方法でやってきて間違いではなかったのだとか、気づきの部分で教科を超えるようなところを出していただいて、工夫の点を網羅した資料をつくった。それを理科の先生が社会の授業を真似て参考になるとか、お子さんたちが入ってきて感動した体験でバロメーターを振り切ったところでそういった授業との出会いがあったときに私はこの道をやってきてよかったのだと、そういうことが退学率や休学者の数にも影響するかもしれませんし、さらなる出口にも影響することになるかもしれません。授業改善がキーワード、それしかないのだと考えている。今日は全体を通して素晴らしい資料を見せていただいてありがとうございました。自分が感じたところは学びつづけるところはそういったところにあるのではないかと思います。

**(委員)** 自己評価報告書を見させていただき、このように細かく丁寧に一つずつチェックして学校経営全体に取り組んでいるのは大変素晴らしいことだと、ここまでやれば学校は内容のある充実した教育に取り組めていけるのかなと、私も過去、学校経営をやってきたが強く感じている。委員からお話しのあった、教員の授業の改善が一番大事なものだなどと強く感じていた。授業によって子供はかわる。学ぶ姿勢、そういうものが心の中に響いていけばどんどん変わると感じました。

以上